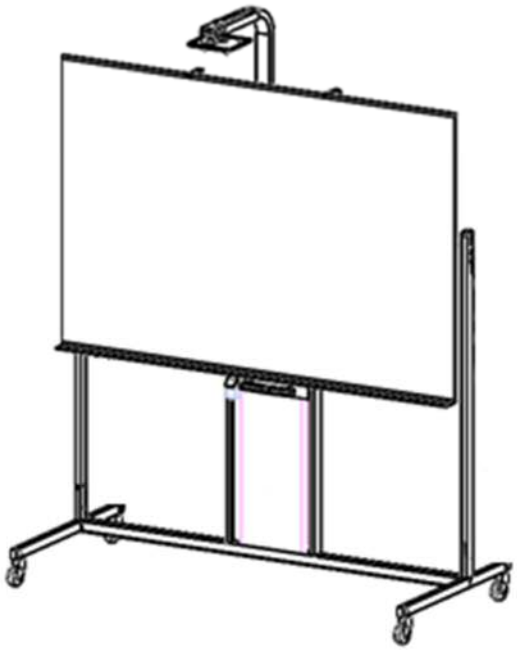
手動昇降型スクリーンボードスタンド

組立設置・取扱説明書



お客様へ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機の取り付けには専門の技術が必要となりますので、販売店や施工業者に依頼してください。組み立てするにあたり、手袋・プラスドライバー・スパナ等を別途ご用意ください。その他の準備品は「別途ご用意いただくもの」をご参照ください。

施工業者様へ

お客様の安全のため据置場所の強度には、本機の荷重に耐えるよう十分ご注意ください。

●設置後は、この説明書を使用者（運用責任者）へお渡しください。

DSB-82M（DS シリーズ B タイプ）

もくじ

安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・2～4
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
部品の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
別途ご用意いただくもの・・・・・・・・・・・・・6
組立要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6～11
プロジェクターの角度調整・・・・・・・・・・・・12
プロジェクターの映写距離調整・・・・・・・・・・13
使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

■ この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用後は大切に保管し、必要なときにお読みください。

安 全 上 の ご 注 意

安全のために、必ずお守りください。

本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の欄は、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

⚠ 警告

昇降して遊ばない

昇降動作は十分安全を確かめて行ってください。子供だけで昇降させて遊ぶと、身体を挟み込む等、死亡または重傷などを負う等の可能性があり大変危険です。

水平でない場所、段差があるなど不安定な場所での設置･移動は行わない

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

本製品にぶら下がる、揺らす、もたれかかる、乗るなどしない

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

直射日光の当たる場所、及び高温多湿の場所で使用しない

変色や変形の原因となるだけではなく、搭載機器の故障、破損、本製品の転倒、及び破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

⚠ 警告

屋外で使用しない

変色や変形の原因となるだけではなく、搭載機器の故障、破損、本製品の転倒、及び破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

搭載質量以上のものを搭載しない

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

地震など強い揺れを感じた場合は本製品に近づかない。

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

地震など強い揺れを感じた場合は本製品の背面側には近づかない。

強い揺れが発生した場合、本製品はキャスターロックのない背面側に移動する可能性がありますので背面側には近づかないでください。

本製品脚部周辺に段差となるようなケーブル、カーペット等の障害物を置かない。

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

ご使用の前は、接続部及びねじ部に緩みが無いか再度確認する

ねじが緩んだままでのご使用は、本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

設置場所が決定したら、キャスターのストッパーを確実にかける

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

移動はホワイトボードとプロジェクターを下端まで下げ、周囲を十分確認する

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

設置後は、接続部及びねじ部に緩みが無いか定期点検をする
緩んでいた場合は確実に締め付ける

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

修理が必要な場合は、直ちに使用をやめる

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。修理が必要な場合は、「コンタクトセンター」まで連絡ください。

⚠ 警告

設置作業は必ず二人以上で行う

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

長期使用を考慮して設置場所の強度を確保する

長期使用により設置場所の強度が不足すると、本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

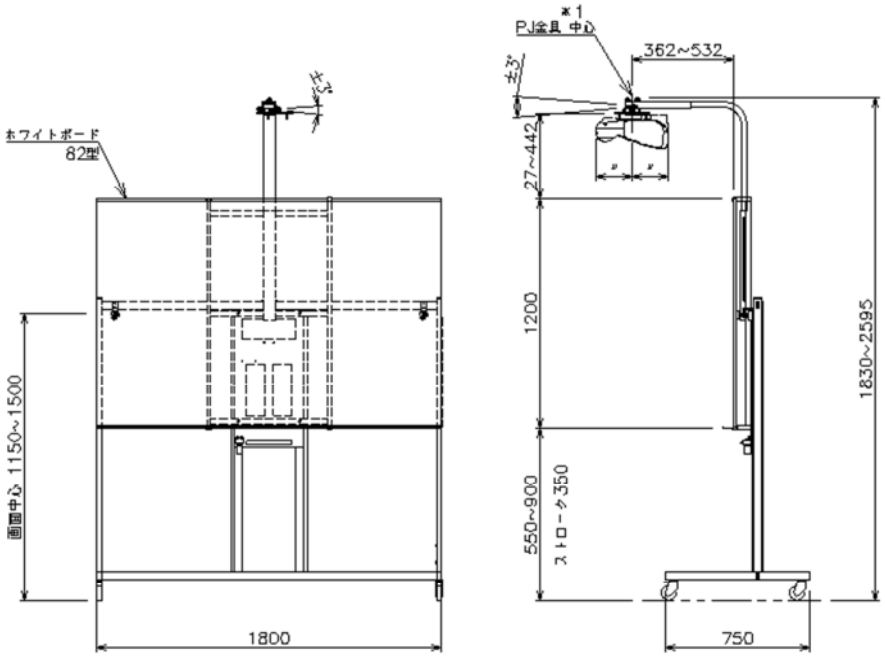
移動時はキャスターのストッパーを確実に解除する

キャスターの破損、本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

移動は引っ張らず、フレームを持ち、ゆっくり移動する

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷を負う可能性も有り大変危険です。

仕様

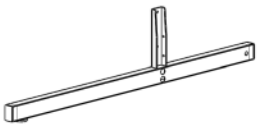
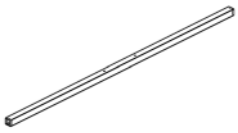
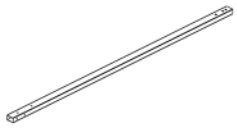
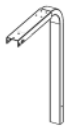
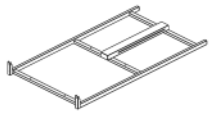
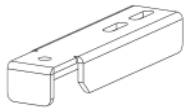
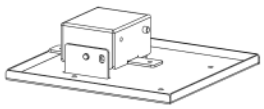
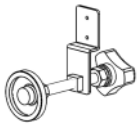
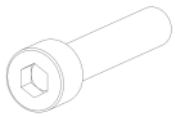
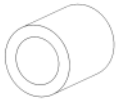


材　質	STKR、SPHC、SPCC、SS400(ねじ類)
塗装色	シルバー(アクリル樹脂塗装)
本体質量	約60kg
外形寸法	W1800×D750×H1830~2595mm
ホワイトボードサイズ	82型
ホワイトボード画面中心高さ	1150~1500mm
昇降機能	ガススプリング手動方式 (無段階)
転倒角度	15° (プロジェクター搭載時)
PJ搭載質量	7kg以下
PJ金具角度調整	前後傾斜±3°　左右傾斜±3°
投射調整距離	PJ金具中心~ホワイトボード幕面　362~532mm PJ設置面~ホワイトボード上端　27~442mm
キャスター	φ75ダブルストッパー機構(車輪回転止め/車軸回転止め※2)

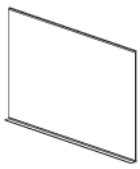
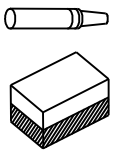
※1　PJに合わせ取付穴加工しております。
※2 車輪は360°８ポジションで固定可能です

部品の確認

■組み立ての前に必ず確認ください。

キャスターフレーム ×１セット（左右） 	横フレーム(正方形)　×1 	横フレーム(長方形)　×1 	縦フレーム ×１セット（左右） 
PJ フレーム　×1 	昇降ユニット　×1 	ホワイトボードフレーム　×1 	フレームブラケット　×2 
PJ ハンガー　×1　※1 	ユリアねじ　×4 	アジャスター　×2 	キャスター(ストッパー付)　×2
キャスター(ストッパー無)　×2 	六角スパナ　×1 	六角穴付きボルト (M8×40)　×8 (M8×55)　×4 	十字穴付き六角ボルト 座金組込 (M4×20)　×4 (M4×30)　×4 (M5×15)　×2 (M6×20)　×10 (M6×30)　×4
金属カラー L=17　×8 L=30　×4 	ばね座金 (呼び径 12)　×4 		

ホワイトボード

ホワイトボード　×1 	ホワイトボード　付属品 マーカー（黒・赤・青）　各１ イレーザー　×１ カラーマグネット　×3 

ねじセット(PJ 取付用)

プロジェクター取付スペーサーセット　※2 	プロジェクター取付ボルトセット　※3

※１　　プロジェクター取付ベースはご使用のプロジェクターに合わせて取付穴加工致します。

※2,3　塔載するプロジェクターによって種類や数量が異なります。

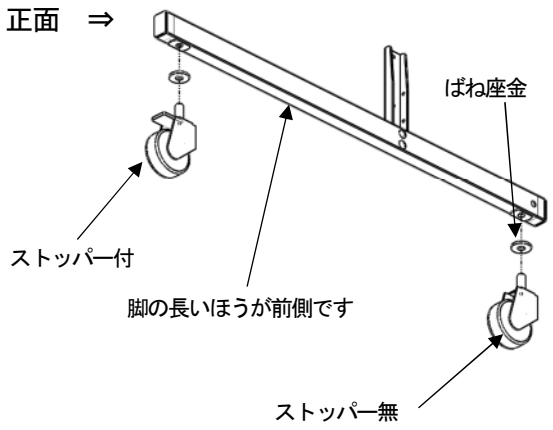
別途ご用意いただくもの

□ プラスドライバー
□ 六角レンチ
□ スパナ
□ カートンケース、毛布等の平らなクッション材
□ 手袋

組立要領

〔はじめに〕部品には取付箇所、取付方向がきまっていますので、図および説明文をよくお読みの上、組み立ててください。
必ず手袋を装着の上、２人以上で作業を行ってください。

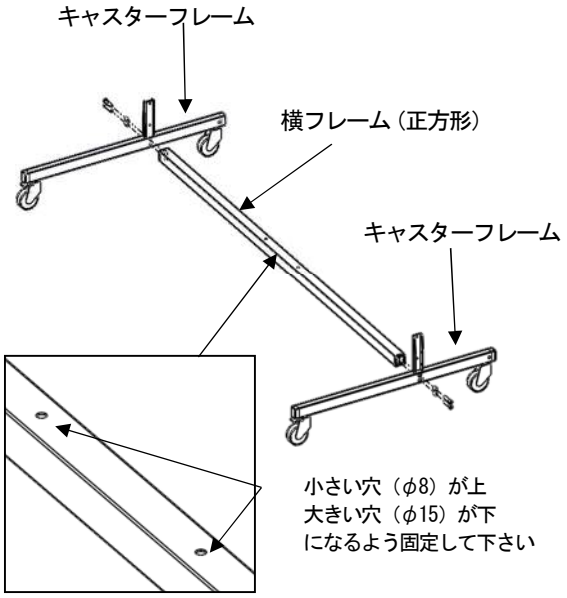
＜　キャスターの取り付け　＞



キャスターフレームに付属の六角スパナを使いキャスターを取り付けます。取り付けの際には、キャスターフレームとキャスターの間にばね座金(呼び径 12)（各 1 個）を入れてください。

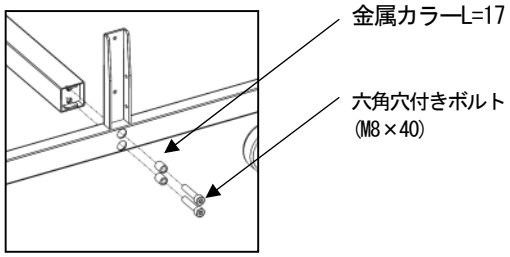
前側にキャスター（ストッパー付）
後側にキャスター（ストッパー無）　各 2 個

＜　フレームの組立１　＞

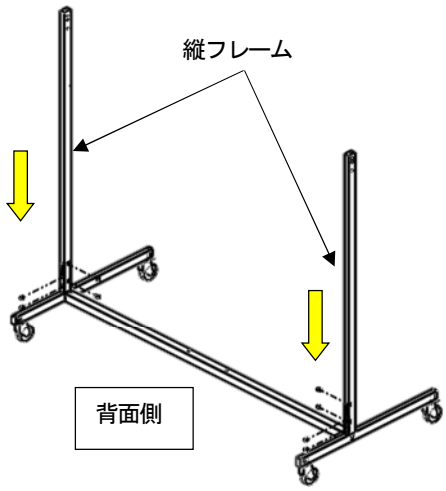


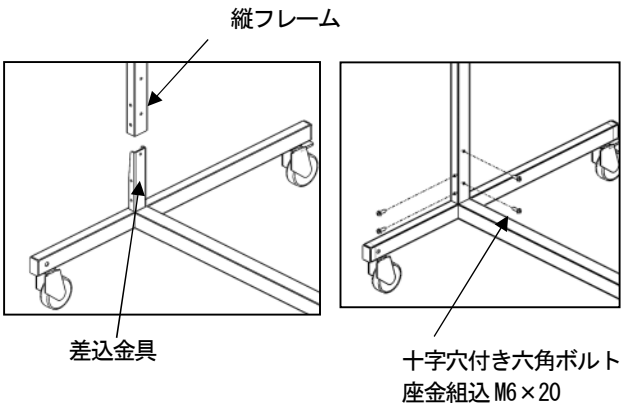
横フレーム（正方形）に金属カラーL=17 を通した六角穴付きボルト(M8×40)を使いキャスターフレームを固定します。（各 4 個）

横フレーム（正方形）とキャスターフレームには方向がありますので図をよくご確認の上作業を行ってください



＜　フレームの組立２　＞

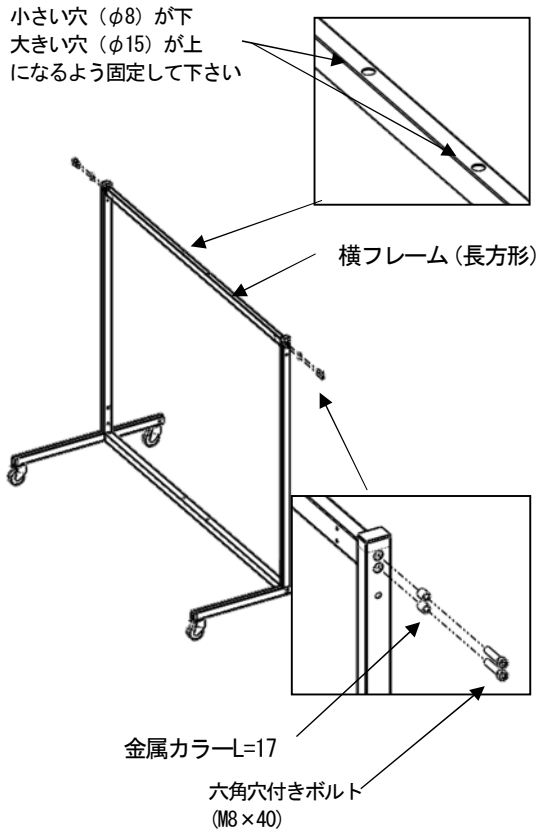




キャスターフレームの差込金具に縦フレーム（2 本）を差し込み、十字穴付き六角ボルト座金組込 M6×20(8 個）を使い固定してください。

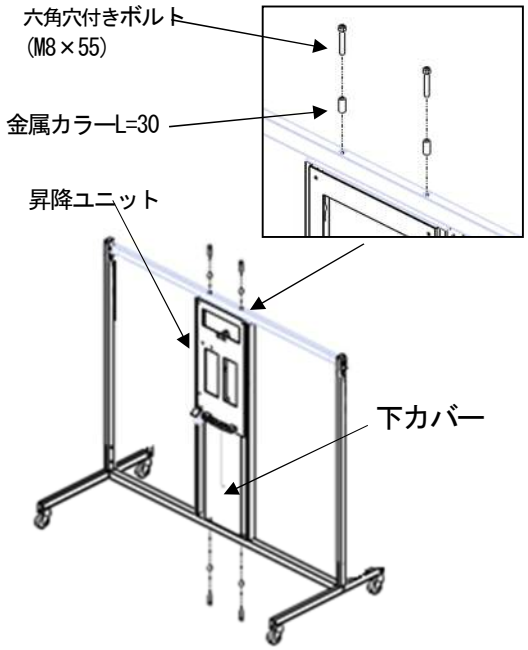
縦フレームには方向がありますので図をよくご確認の上作業を行ってください

＜　フレームの組立 3　＞



縦フレームに金属カラーL=17 を通した六角穴付きボルト(M8×40)を使い横フレーム（長方形）を仮固定します。（各 4 個）
横フレーム（長方形）に貼ってある注意ラベルが背面側になるよう取り付けてください。

＜　昇降ユニットの取付　＞

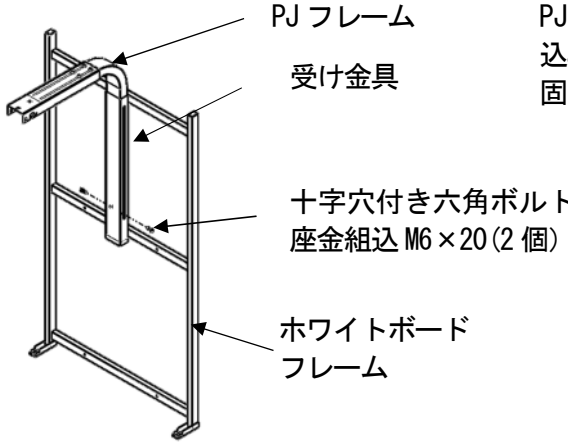


昇降ユニットを横フレームの間に入れ穴位置をそろえ金属カラーL=30 を通した六角穴付きボルト(M8×55)を使い、上から横フレームに仮止めしてから下を固定してください。（各 4 個）

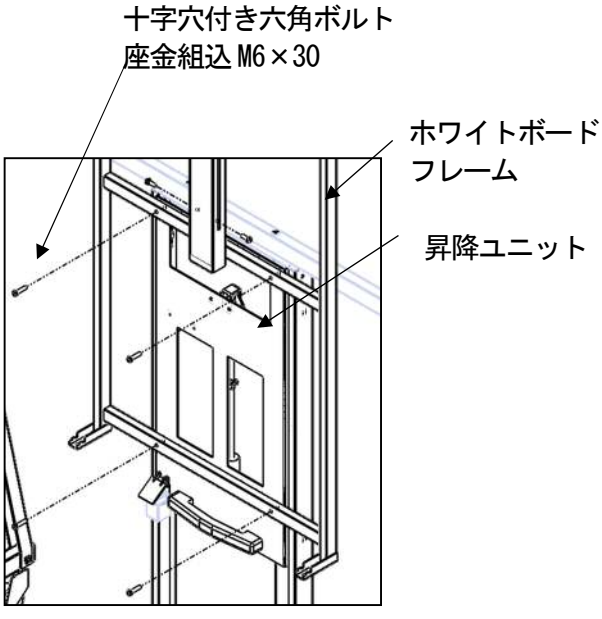
下のねじが入りにくい場合、下カバーを外し（昇降ユニット背面ねじ固定 6 箇所を外す）穴位置を確認してください。

昇降ユニットの取り付け作業が完了したら仮止めしていたねじ（昇降ユニット上下・横フレーム）を増し締めし固定してください。

＜　ホワイトボードフレームの取り付け　＞

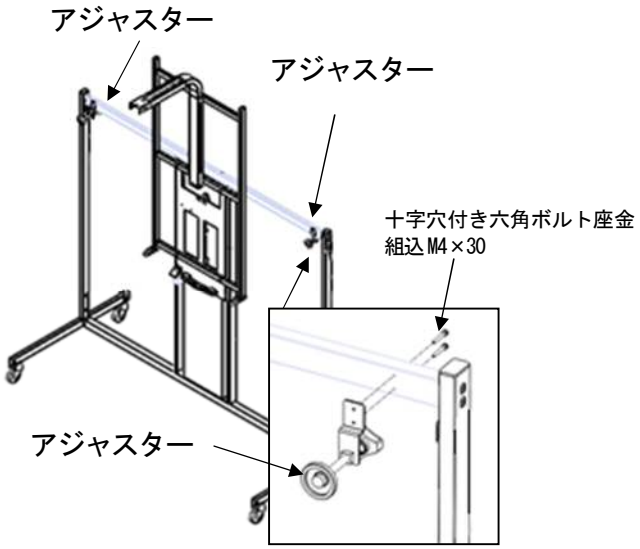


PJ フレームをホワイトボードフレームの受け金具に差し込み十字穴付き六角ボルト座金組込 M6×20(2 個）を使い固定します。



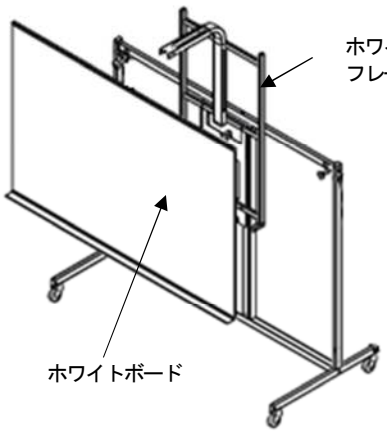
ホワイトボードフレームを十字穴付き六角ボルト座金組込 M6×30(4 個）を使い昇降ユニットに取り付けます。

＜　アジャスターの取付　＞

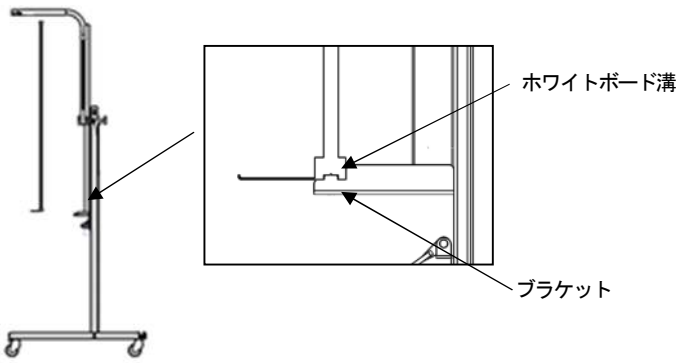


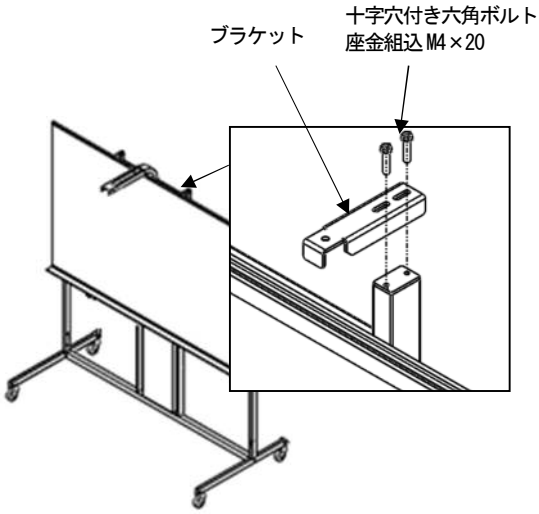
アジャスターを十字穴付き六角ボルト座金組込 M4×30(4個）を使いフレームに固定します。

＜　ホワイトボードの取付　＞

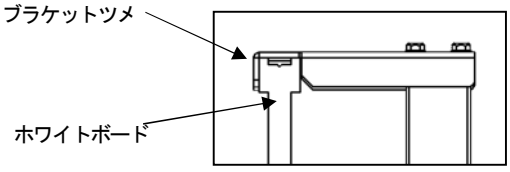


ホワイトボードをホワイトボードフレームのブラケットに載せます。ホワイトボード下面の溝にブラケットの山が入っていることを確認してください。



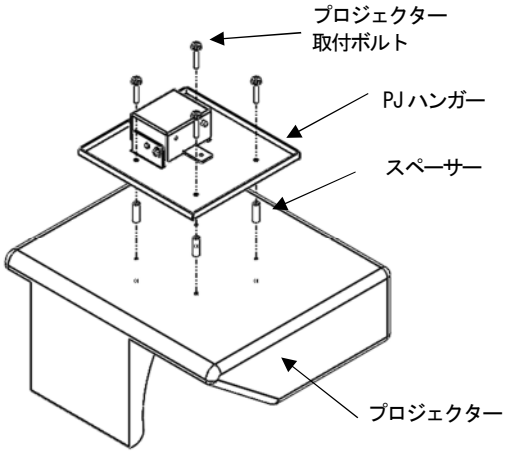


ホワイトボードの中心がスタンドの中心に来るよう位置を合わせてください。
ホワイトボードをブラケット(2 個）と十字穴付き六角ボルト座金組込 M4×20(4 個）を使いホワイトボードフレーム上面にあるねじ穴に固定します。
ブラケットのツメがホワイトボードにかかっていることを確認ください。



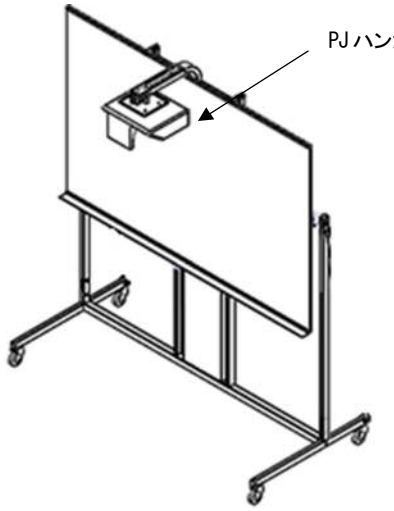
ホワイトボードの傾斜調整が必要な場合、ブラケットの長穴を使い調整してください。

＜　プロジェクターの取付　＞

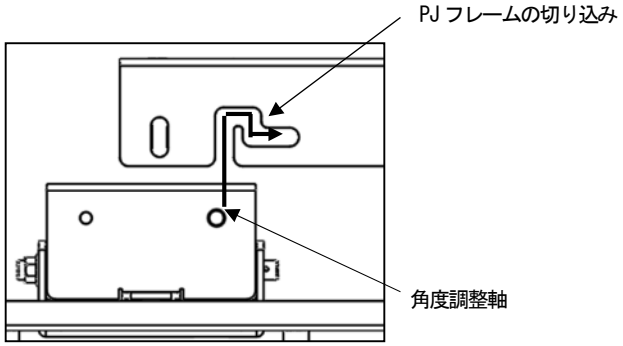


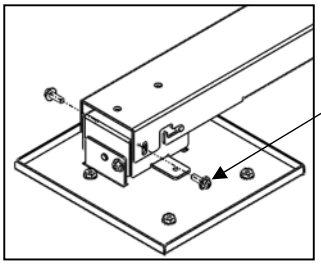
プロジェクター取付ボルトとプロジェクター取付スペーサーを使い
プロジェクターを取り付けます。

＜　PJ ハンガーの取付　＞

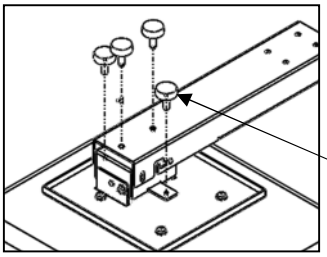


PJ フレームの先端にある切り込みに PJ ハンガーの角度
調整軸を差し込みます。そのまま角度調整軸が図の方向
に入るように PJ 金具を移動させてください。





PJ ハンガーの左右を十字穴付き六角ボルト座金組込
M5×15 にて固定します。



ユリアねじを PJ フレームと PJ ハンガーに各 2 個取り付
けてください。

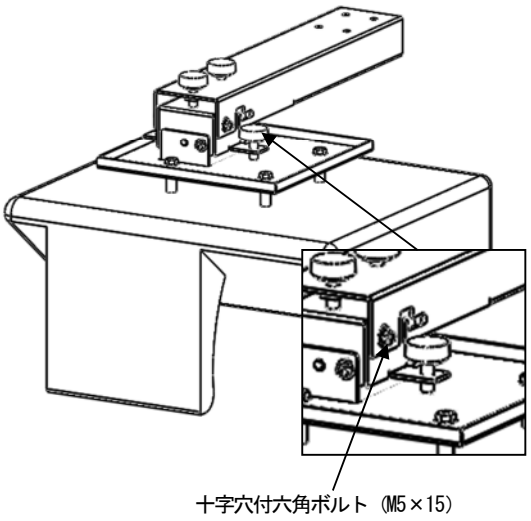
プロジェクターの角度調整

本製品はプロジェクターの傾斜角度を上下傾斜±3°、左右傾斜±3°で調整できます。

⚠警告

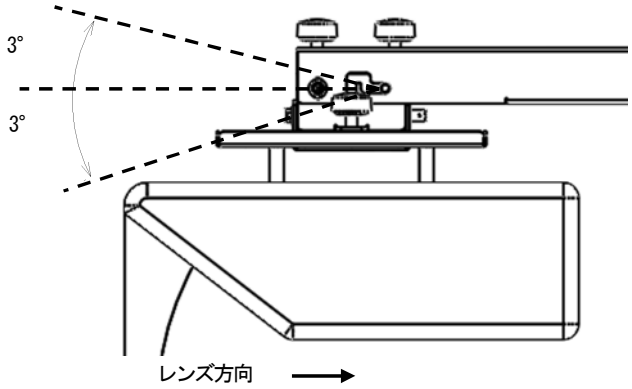
プロジェクターの方向を調整する時は、ボルトを緩めすぎないようにしてください。
調整後はボルトを固定したか再度確認をしてください。

＜　上下傾斜の調整　＞

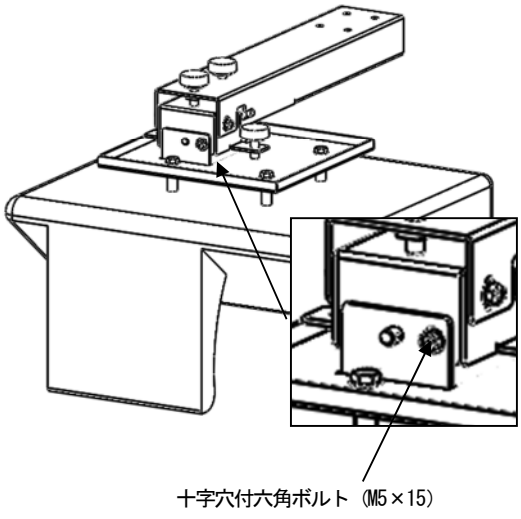


〈〈手順 1〉〉
プロジェクター本体を下から手で支えながら
ハンガー（角度調整金具）の左右ボルト 2 本を角度調整ができる範囲まで緩めます。

〈〈手順 2〉〉
プロジェクターをお好みの角度に合わせて、ボルトを固定してください。

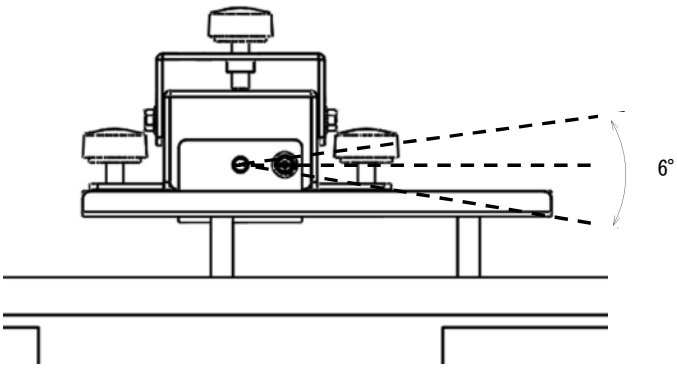


＜　左右傾斜の調整　＞



〈〈手順 1〉〉
プロジェクター本体を下から手で支えながら
ハンガー（角度調整金具）の前後ボルト 2 本を角度調整ができる範囲まで緩めます。

〈〈手順 2〉〉
プロジェクターをお好みの角度に合わせて、ボルトを固定してください。

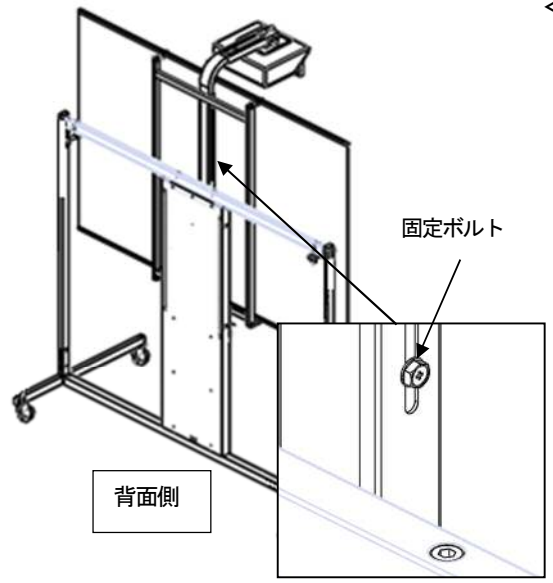


プロジェクターの映写距離の調整

本製品はPJハンガー位置（PJ映写位置）を調整できます。。

⚠警告

PJハンガー位置（PJ映写位置）の調整を行うときは、ボルトを緩めすぎないようにしてください。
調整後はボルトを固定したか再度確認をしてください。

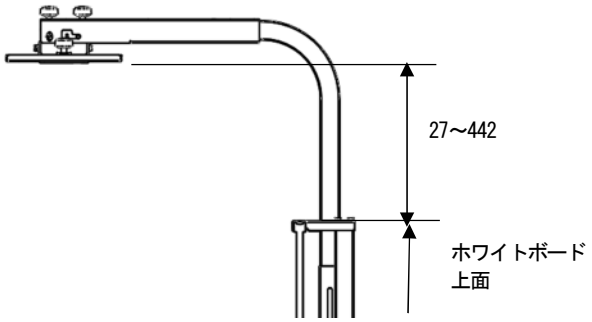


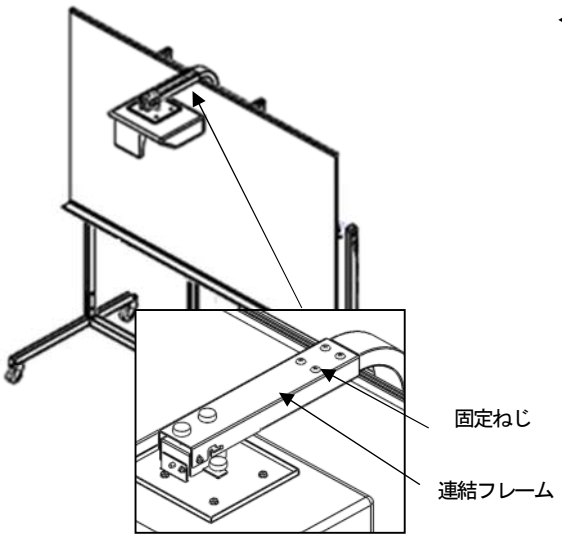
＜　高さ方向の調整　＞

<<手順1>>
PJフレームを手で支えながら固定している左右のボルト2本を
角度調整ができる範囲まで緩めます。

ボルトを緩める時は必ずPJフレームを支えてください
ボルトを緩めるとPJフレームが勢いよくおりてきます。

<<手順2>>
PJハンガーを希望の位置まで動かしボルトを固定してください。

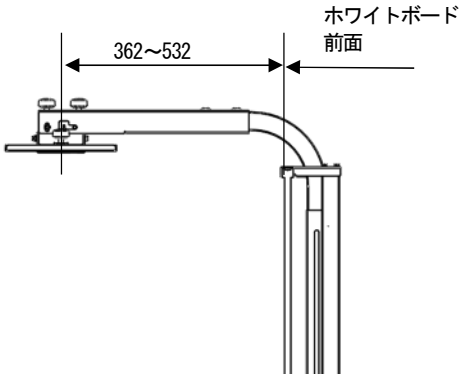




＜　前後方向の調整　＞

<<手順1>>
プロジェクター本体を下から手で支えながら
固定ねじ4本を連結フレームが調整できる範囲まで緩めます。

<<手順2>>
PJハンガーを希望の位置まで動かしボルトを固定してください。

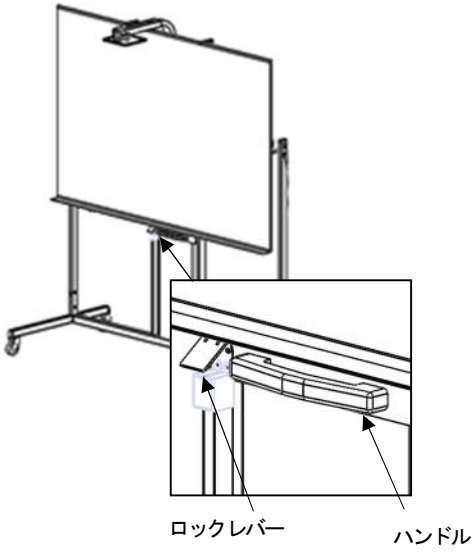


使用方法

本製品はホワイトボードの高さを調整できます。また、アジャスターを使用することでホワイトボード書き込み時の揺れを軽減できます。
ホワイトボードの取り扱いについては、ホワイトボードに同梱されている取扱説明書を参照ください。

⚠警告

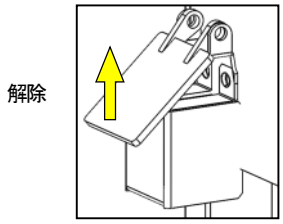
ホワイトボードの高さを調整する時は、ハンドルを持ち動作してください。
ホワイトボードを持ち動作を行うとホワイトボードが外れたり、ブラケットが破損しホワイトボードが落下する恐れがあります。



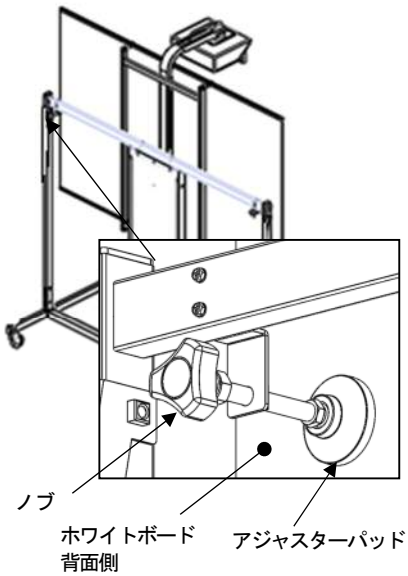
＜　高さ調整　＞

高さ調整を行う際はアジャスターを緩めてから行ってください。

〈〈手順 1〉〉
ハンドルを持ちながらロックレバーを引きロックの解除を行います。



ロックはロックレバーを引いている間解除され、ロックレバーを離す（レバーが戻る）とロックされます。



〈〈手順 2〉〉
希望の位置までホワイトボードを動かしロックレバーを離します。

＜　アジャスターの調整　＞

〈〈手順 1〉〉
ノブを回しホワイトボードの背面側をアジャスターパッドで押さえます。アジャスターパッドはホワイトボードに当たる程度にしてください。（ホワイトボード書き込み時の揺れを押さえる程度）

ノブを回しすぎるとホワイトボードが変形する原因となります。

＜　移動　＞

本製品を移動するときは、ホワイトボードとプロジェクターの高さを下限位置まで下ろしてください。

移動時はホワイトボードを持たずフレームを持ってください。

保証書

品名 手動昇降型スクリーンボードスタンド

ご購入
年月日

取扱店
住所／TEL

保証期間 ご購入の日より	本体　1ヵ年

1. 保障期間内であっても次の場合は有償修理となります。
(1) この保証書のご提示がない場合。
(2) 保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お取扱店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合。
(3) ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
(4) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
(5) 火災や天災等による故障および損傷。
(6) 消耗品および付属品の交換の場合。

2. その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し受けます。

■ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ取扱店名が記入されているかお確かめください。万一記入が無い場合は直ちにお買い上げ取扱店にお申し出ください。

※　この保証書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only Japan

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、 取扱店または下記コンタクトセンターまでお問い合わせください。

株式会社オーエス

コンタクトセンター
〒120-0005 東京都足立区綾瀬3-25-18
TEL:0120-380-495 FAX:0120-380-496
（受付時間:平日9:00～18:00 ※土日祝日を除く）
E-mail : info@os-worldwide.com
※フリーダイヤルに接続できないお客様は、ご面倒ですが下記電話番号までおかけください。
TEL:03-3629-5211 FAX:03-3629-5214